

## 勉学の神 小淵天神

吉田光良 調

南小淵にある小淵天神は、国道155号の南小淵交差点から少し東へ進むと北側に見える。「勉学の神 小淵天神」の白い標柱が出ているのですぐに分かる。

参道左右の境内地は、うっそうと茂った竹林に囲まれて、ほとんど一日中日光が差し込むこともなく、薄暗く一種独特の静寂さと厳肅さを感じさせる。初老記念の献燈も数多く設置されており、元指定村社としての社標、制札、鳥居、透塀<sup>すかし</sup>、燈籠、拝殿、祭文殿<sup>さいもんてん</sup>等ごとごとく完備されている。境内地二反余の立派な神社である。

祭神は「少彦名命」(すくなびこなのみこと)とされ、鳥居には「天満宮」の石額と「梅の花」の文様が刻まれている。なお、神社の西側には浄土宗の「西福寺」がある。

以前は、「南無天満大自在天神」とか「天満宮」などと称されていたが、明治3年に現在の社号に変更された。「京都五条街天神社」を勧請したものと伝えられている。「京都五条街天神社」とは、京都下京区の「菅大臣神社」<sup>かん</sup>のことで、菅原道真の父である是善の邸宅跡に祀られている。

西成連区内の神社でも末社としての天神社が祀られているところは多いが、“勉学の神”として氏子から親しみを込め、崇拜されているのはあまり例を見ない。

### 合格祈願祭(歳旦祭)<sup>さいたんさい</sup>

例年1月6日午前10時から社務所で受付を開始し、午後1時30分から「合格祈願祭」(歳旦祭)が執り行われることになっている。例年、近隣の受験生たちが合格祈願のため参拝に訪れるとのことである。

(参考図書) 一宮市史西成編等